

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	973	食生活いきいきネットワーク事業	会計	01	一般会計
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
担当部課名	教育部 学校教育課		項	01	教育総務費
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	目	03	義務教育振興費
			細目	102	児童生徒指導経費
			細々目	16	食生活いきいきネットワーク事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を) 花垣小学校児童 比自岐小学校児童	成果(どうなるのか) 学校給食を中心に、地域食材を活用した食指導を実践することで、子どもたちが食生活についてしっかり考えるようになります。		
本年度事業内容	1. 食に関する指導 安心で安全な地域食材について			
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.25	0.5	0.5
	人件費合計(A)	1,800	3,600	3,600
②支出内訳(千円)	事業費(B)	500	400	400
	委託料			
	報償費	107	100	100
	需用費	242	250	250
	その他	151	50	50
合計(A+B)		2,300	4,000	4,000
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	500	400	400
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	1,800	3,600	3,600	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
食教育実施校数	校	2	2	2			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
朝ごはんを食べてこない児童の割合	「早寝早起き朝ごはん」を実践し、心身ともに健康な児童を育成するためにも、朝ごはんを必ず食べて登校することを指標としました。	%	5 目標 (0)	0	0
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

朝ごはんを食べない子どもたちの増加や生活習慣の乱れから不規則な食習慣に陥っている子どもたちの実態を改善するため、学校における食教育が課題となっています。そこで、花垣小学校と比自岐小学校においては、地域の支援を得て、地元の生産者に聞き取りをしたり、自分たちが学校農園で野菜を栽培したりして、安心で安全な食材の知識を得ています。食に起因する健康課題の解決だけでなく、基本的な生活習慣を身につけることで、日常の生活が規則正しくなり、学習習慣の確立にもつなげることができると考えます。2校での実施ですが、該当校から食の重要性を市内へ発信していく方向で考えています。

評価	必要性	4	子どもたちが基本的な生活習慣を身につけることの重要性から、「早寝早起き朝ごはん」と言われています。食育において、子どもたちの心身の健康の増進、地域の伝統的な食文化に触れることや地産地消の推進は、今後さらに進めていく必要があると思います。子どもの学習意欲の低下や体力の低下が懸念されている現状ですので、子どもの望ましい生活習慣の育成は、重要であると考えます。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		